

はじめに

2009年3月 大府商工会議所は、業種別部会並びに地域支部へのヒアリングを実施し、加えて広く会員及び消費者へのアンケート調査により市内商工業の現状と課題を把握して「商工業活性化ビジョン 2009～2018」を策定しました。基本テーマを「人づくり」「ものづくり」「まちづくり」としてビジョン達成のための指針・方策をまとめ短期3年、中期5年、長期10年のプログラムに区分整理し取り組むこととしました。

今回は、3年間の短期プログラムをより明確にするため行動計画として策定しました。

「おおぶ社会人学舎」については、会員の要望をまとめカリキュラム、講師、講座の日程を明確にして入門編と中級編を設け2010年3月開設記念講演を行い5月に開設します。人材の育成については、「ものづくり塾」「商人塾」の修了生と「おおぶ社会人学舎」修了生との交流の場を設置して共通テーマによるネットワークの形成を図ると共に新現役等第一線で活躍している人との交流を図る地域の多様なリーダーづくりの研鑽の場を設置します。

会員企業の経営基盤の確立については、公設試験所、研究所の協力とネットワークの拡大を構築し産学官連携事業の推進、交流会の企画開催、産産連携事業に取り組みます。新市場の開拓については、当会議所のホームページをリニューアルしてビジネスモールへの参画と会員企業の登録、参加企業拡大キャンペーンを実施してホームページに全会員掲載と情報内容の充実に努めます。

「地域おこし」については、商人塾、ふれあいゼミナール及び一店逸品運動の推進により消費者とのコミュニケーションを図り、農商工連携及び大府ブランド事業を推進します。

なお、「環境保全の推進」については、エコ工業団地の整備支援及び新エネルギー対策への取り組み、また「1事業所1エコ運動」として消費電力1割削減を会員に呼びかけると共に青年部の緑のカーテン事業を始めました。

「大府市第5次総合計画 2010」の策定に際しては、商工業活性化ビジョンとの整合を図ってきたところであり、「基盤整備」については、行政に対しこれからもあらゆる機会をとらえ要望活動に努めてまいります。

2010年3月

大府商工会議所
会頭 遠藤 司 郎

I. 大府商工会議所 商工業活性化ビジョン短期行動計画の概要

「商工業活性化ビジョン2009～2018」達成のためのフレーム			短期行動計画(3年間)2009～2011			
テーマ	指針	方策	2009	2010	2011	
人づくり	1. 「社会人学舎」の創設	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の後継者および中核人材の育成 マネジメント教育 マーケティング教育 グローバル化に対応した教育 IT人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 会員アンケート調査の実施 講座の日程・講師・カリキュラム等の編成 3月 開設記念講演の開催 	<ul style="list-style-type: none"> おおぶ社会人学舎の開設 入門編:春期、秋期 中級編:冬期 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムの見直し 予定講座 入門編:春期、秋期 中級編:冬期 	
	2. 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 人材のネットワークの形成 	<ul style="list-style-type: none"> 経営の後継人材、中核人材の人的交流ネットワークづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり塾(修了生相互間と市内先進工場の見学)、商人塾修了生のネットワーク化 	<ul style="list-style-type: none"> 「おおぶ社会人学舎」修了生と「ものづくり塾」及び「商人塾」の修了生交流の場を設置し、共通テーマによるネットワークの形成 	→
		<ul style="list-style-type: none"> リーダーづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材づくりの場の提供 OB人材(新現役)の活用 世界に通用する人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり塾講師に新現役の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 修了生ネットワークを通じて地域の多様なリーダーづくりの研鑽の場を設置 	→
ものづくり	1. 中小製造業の経営基盤の確立	技術力 <ul style="list-style-type: none"> 企業の新規技術や専門性の高度化 世界に誇れる地域技術力の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 産学官連携事業を活用し、大学や公設試験・研究機関からの技術移転の推進 世界に通用する開発技術力に係る教育 生産管理技術(生産管理・生産技術・製造技術)に係る教育 製造技術者の教育(ものづくり塾の進化発展) 	<ul style="list-style-type: none"> 公設試験所・研究所の協力ネットワーク拡大構築 産学官連携交流会の企画開催 補助事業説明会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業に身近な高専とのネットワーク作り 補助事業勉強会の開催 産産連携の取組み 	→
		企画・販売力 <ul style="list-style-type: none"> 新市場を開拓するための企画・販売力の構築 	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング力の向上 ビジネスモールへの参加支援 	<ul style="list-style-type: none"> 当会議所ホームページの改編 ビジネスモールへの参画と会員企業の登録 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに全会員掲載と情報内容の充実 参加企業拡大キャンペーンの実施 	→
		経営力 <ul style="list-style-type: none"> QCD(品質・コスト・納期)の確立 リスクマネジメントの構築 	<ul style="list-style-type: none"> QCD(品質・コスト・納期)の啓発 新しい環境に対応する企業連携を支援するしくみの構築 災害等によるリスクの回避 	<ul style="list-style-type: none"> 「おおぶ社会人学舎」に、ものづくり(QCDの確立)講座の設置 BCP(事業継続企画)活動の取組み 	→	
	2. 複合型産業基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> 先端企業の誘致と育成 	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術のインキュベーション施設誘致の推進 長寿・医療・健康・福祉に係る企業誘致支援 先端技術企業(航空機関連)の誘致支援 			<ul style="list-style-type: none"> 先端技術企業誘致活動の展開

「商工業活性化ビジョン2009～2018」達成のためのフレーム			短期行動計画(3年間)2009～2011				
テーマ	指針	方策	2009	2010	2011		
まちづくり	1. 大府市の顔づくり (ウェルネスバレー)	・あいち健康の森周辺に「長寿・医療・健康・福祉産業特区」を目指し世界に誇れる健康関連産業の集積の実現	①「長寿・医療・健康・福祉産業特区」構想づくりへの参加 ②医工連携した産学官連携拠点の構築支援 ③重粒子線治療施設の誘致支援 ④健康をテーマにしたビジネスの開発		・医工の産学官連携事業への参画 ・ニュービジネスの開発支援	→	
		・長寿・医療・介護・福祉の充実したまちづくり	①高齢者の居住環境の整備(有料老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅、グループホーム、介護施設など) ②福祉住環境関連支援と生活支援用具の開発・普及支援 ③在宅医療のネットワークの構築	・福祉住環境コーディネーター資格取得への支援 ・委員会への参画	→		
	2. 地域おこし	・活力と賑わいのあるまちづくり	①大府ブランドの創造 ②消費者とのコミュニケーションの強化	・大府ブランドと農商工連携取組への勉強会の開催 ・「商人塾」、「ふれあいゼミナール」、「一店逸品運動」の推進	・農商工連携と大府メニューに取り組む事業所の発掘と意向調査	・商品化支援	→
	3. 環境保全の推進	・循環型社会・低炭素社会の実現	①エコ工業団地の整備 ②新エネルギービジョン策定への参加 ③新エネルギー装置(太陽光発電、コジェネレーション、燃料電池等)の普及促進 ④エコ活動の取組み	・「エコ工業団地」と環境関連企業誘致勉強会の設置 ・新エネルギー勉強会の開催 ・「1事業所1エコ運動」の展開、当会議所青年部による「緑のカーテン事業」の展開	・新エネルギー化に向けた勉強会の開催	・新エネルギー化に向けた普及、支援活動	→
4. 安全・安心への取組み	・地域医療の充実 ・警察力の強化	①あいち健康の森周辺の医療機関を中心とした地域医療のネットワーク確立 ②警察署の誘致支援 ③防犯対策ネットワークの構築	・介護医療のニーズ調査と在宅医療のネットワーク化への取組み			→	
基盤整備	1. 道路等インフラ整備と街づくり	・JR大府駅東側周辺の再開発	①中心市街地形成のための指針策定 ②飲食店、ビジネス拠点、アミューズメント施設、スポーツ施設等の誘致	・大府市第5次総合計画策定への参画	・地権者の意向を尊重して検討	→	

II. 人づくり

1. 「おおぶ社会人学舎」の開設

「おおぶ社会人学舎」は会員企業の後継者や中核人材の教育の場として、実学の講師によるケーススタディー中心の実践と理論を同時に習得できる場とする。

2009年度に開設し、次年度以降は基礎コースを中心とするが、高度なカリキュラムも加え受講者のレベルアップを図る。また、カリキュラムの充実を図るために大学、研究機関の協力に加え、OB人材の技術やノウハウも活用する。

更にステップアップの方策として研修生が地域の多様なリーダーとなる持続発展の道を切り開く。

・中小企業の後継者および中核人材の育成

2009年度「おおぶ社会人学舎」の開設に向けた記念講演として、基調講話とキックオフ講座を実施する。

2010年度からカリキュラムは基礎コース6科目（経営者の心構え、経営企画・経営戦略、営業・顧客開拓、財務分析、マーケティングおよびものづくり・まちづくり）を2回と中級コース1回で行う。2011年度は前年と同様の方針で臨むとし、1年間の経験をふまえて総合的な見直しも行うこととする。（全体下図）

大府商工会議所ビジョン「人づくり」

「おおぶ社会人学舎」の開設スケジュール ～中小企業の後継者および中核人材の育成～

年度 月	2009年度		2010年度			2011年度		
	3月	5~7	9~11	1~3	5~7	9~11	1~3	
カリキュラム								
経営者の心構え		心	心	中級コース	心	心	中級コース	
経営企画、経営戦略		戦	戦		戦	戦		
営業、顧客開拓		営	営		営	営		
財務分析		財	財		財	財		
マーケティング		マ	マ		マ	マ		
ものづくり・まちづくり		も	ま		も	ま		

特長

実践的
ケーススタディー

実学講師
企業・大学人材

持続的しくみ
入門～中級

人的交流
ネットワークの形成

会員アンケート調査

入門編・中級編各コース＝1講座 2時間×6回

2. 人材の育成

「ものづくり塾」、「商人塾」と「おおぶ社会人学舎」の修了生によるネットワーク形成の場を創り、自発的なビジネステーマと環境など社会テーマのグループ活動を支援し、必要に応じてコーディネーター派遣等による人材の育成を図る。

グループ活動の場は、当商工会議所青年部も加えて、将来の地域のリーダーづくりとして新現役など第一線で活躍している人との交流を図るなど研鑽の場とする。

・人材ネットワークの形成

「ものづくり塾」、「商人塾」の修了生は既にネットワークを形成しており、「おおぶ社会人学舎」の修了生とのネットワーク形成の場を拡大する。

修了生のネットワークを通じて技術解決、共同受注、新事業など自発的なビジネステーマと環境、子育てなどの社会テーマのグループ活動支援とあわせ、必要に応じて企業連携（産産連携）、産学官連携のコーディネーター派遣による人材の育成を図る。

・地域のリーダーづくり

更にステップアップの方策として、修了生ネットワークと当商工会議所青年部を加えて経営、技術、企画・営業などノウハウを有する新現役など、第一線で活躍している人との交流を図る場を創り、地域のリーダーを育成する。

コーディネーター派遣による産産連携や産学官連携支援事業を通じて、地域の多様な人材を創出する。その結果として、商業、製造業、建設業、情報物流サービス業など、業種間の垣根を超えた地域を先導する人材の育成を図る。

Ⅲ. ものづくり

1. 中小製造業の経営基盤の確立

中小製造業は自社の技術力や専門性を高めるために「産産連携」や「産学官連携」のしくみをつくり、企業間や大学・研究機関の技術移転を促し、経営基盤を確立する必要がある。

地域の技術集積を高めるためにはグループによる共同研究や、新事業に取り組むしくみをつくり運用の支援をする。

新市場を開拓するためにはビジネスモールに参画し、情報発信と合わせてマーケティング力、企画・販売力を強化、ビジネスチャンスを拡大するとともに自社のブランド力を高める。

製造業の経営力を高めるマネジメントにはQCD（品質・コスト・納期）の確立とBCP（事業継続計画）によるリスクマネジメント力の強化を図る。

・技術力

中小製造業の技術力、現場力を更に高めるために「産産連携」や「産学官連携」事業への参加支援を行い、国や県の事業を活用する等、大学や研究機関の先進技術を移転し、企業の基盤技術や専門性の高度化を図る。

各会員企業の課題解決の場を設け、既に解決済みの課題を未解決の企業に技術移転をする場を設ける。（産産連携事業）

解決できない課題や企業間で新しいビジネステーマに対しては、検討会などを適宜実施し、大学や研究機関のアドバイスを得て、課題解決、新商品、新事業を創出する。企画については、産学交流や公開ニーズのその後の展開状況等を踏まえて、産学官連携の変革試行を行う。（産学官連携事業）

・企画・販売力

会員企業が新市場を開拓するために当商工会議所のホームページを改編してビジネスモールとの関連性を持たせる。会員企業のビジネスモール掲載促進を図り、参加企業の情報発信を支援する。

当商工会議所のホームページにビジネスモールの総合案内を設けることで販売力強化および当会議所会報掲載などの工夫により地域ブランド力とマーケティング力の向上を図る。

・経営力

製造業のマネジメント力を高めるQCD（品質・コスト・納期）の講座を「おおぶ社会人学舎」に設置する。

会員企業の災害や不測の事態のリスクマネジメントを地域で連携するBCP（事業継続計画）の啓蒙と普及促進を図る。

2. 複合型産業基盤の確立

地域資源である「国立長寿医療研究センター」を核とした「ウェルネスバレー構想」に基づく産業創出が企画されている。大府市や関連機関の政策と整合させながら専門性や地域性を活かした新産業創出の協議基盤を構築する。

企業間ネットワークの構築を基に、新商品の開発や新ビジネスの新しい販路の開拓と特徴ある「ものづくり」地域として個々の事業が集積し、結果として新しい産業構造が創生されることで、次期行動計画のテーマとする。

・先端企業の誘致と育成

先端技術のインキュベーション施設誘致のため、大府市や関係機関へ働きかけ勉強会などを企画して推進する。

IV. まちづくり

1. 大府市の顔づくり（ウェルネスバレー）

大府市の「ウェルネスバレー構想」実現に向けた活動を展開し、国立長寿医療研究センターを中核とした「あいち健康の森」周辺を「長寿・医療・健康福祉産業特区」も視野に入れた活動を行う。

- あいち健康の森周辺に長寿・医療・健康福祉産業の誘致活動を展開する。
大府市は「あいち健康の森」の地域資源を活かした「ウェルネスバレー構想」実現に向け、医工の産学官連携事業への参画、最新のガン治療に有力な重粒子線治療施設の誘致活動を展開し、健康をテーマにしたイベントの企画、WHO国際会議の招致支援等「長寿・医療・健康福祉産業」のニーズ調査、事業化企画等の支援を行う。
- 健康をテーマにしたビジネス開発
福祉住環境関連支援、生活支援用具の開発・普及支援、在宅医療のネットワーク構築など長寿、医療、健康、福祉に関連するニーズ調査に協力して、新事業開発および関連企業誘致活動などを積極的に行う。

2. 地域おこし

活力のある「まちづくり」を推進するため消費者（市民）とのコミュニケーションを通じて、新商品やニュービジネス開発を行う。ニーズの発掘と受け手である商業、製造業、農産物と食品製造業、情報サービスとのネットワークの構築を推進することによって、地域ブランドとなり相乗的に地域の活性化を推進する。

- 活力と賑わいのあるまちづくり
「がんばる商店街」推進事業としての「ふれあいゼミナール」は消費者とのコミュニケーションの場である。また、「一店逸品運動」によって、こだわりの商品、サービスは定着しつつあるが、更に大府メニューの開発を行い、ブランド力を高めていく。
既存の活動をさらに発展させ、ニーズの発掘と農商工連携などによるニュービジネスや新商品の開発を支援する。
これらの情報発信や消費者とのふれあい、イベントを通じた大府ならではの商品開発を行い地域ブランドとして育て相乗的に地域の活性化を推進する。

3. 環境保全の推進

地球温暖化ガス排出量の抑制と、地域経済の発展を図るため、新エネルギー化に向けた勉強会を行う。

当会議所会員のエコ活動の目標（電力消費量の10%削減）を設定し、環境配慮の意識を高め、商業、製造業、建設業、情報物流サービス業においてもマネジメントおよび事業内容の見直しの契機となる事業を推進する。

・循環型社会・低炭素社会の実現

新エネルギー化に向けた勉強会を開催し、次世代産業につながる企業誘致と新エネルギー（太陽電池、コジェネレーション、燃料電池等）施策を展開して地域の環境対策と地域活性化を推進する。

また、当会議所会員企業に対して「1事業所1エコ運動」および当会議所青年部による「緑のカーテン」事業の展開により当商工会議所全体のエコ運動につなげる。

次世代成長産業の地域戦略としては「エコ工業団地」を整備支援する。CO₂ 排出抑制となる太陽光発電、LED照明具、コジェネレーション等、新エネルギー導入を支援し、環境関連企業の誘致活動を推進する。

4. 安全・安心への取り組み

・地域医療の充実

地域の在宅医療のネットワーク構築の中で介護医療現場のニーズ調査と課題解決の産学連携活動に参画する。

V. 基盤整備

1. 道路等インフラ整備と街づくり

基盤整備は大府市第5次総合計画等への位置づけと、地域経済の持続発展の基礎となる事業を行政に要望する。

「大府市の顔」として、JR大府駅からあいち健康の森へのアクセス道路、石が瀬川沿いの河川遊歩道、知多半島サイクリングロード、薬草園などの整備および吉川地区熊野神社周辺の整備を行い、「げんきの郷」の年間170万人来訪者が周辺でも遊べるエリアとする。

産業幹線道路の整備とJR大府駅、共和駅に通じる市民のアクセス道路およびバス等、交通インフラの整備が必要である。

企業誘致は地域間競争の中で、主に誘致企業の関連集積度や物流効率の優位性で決まる。産業幹線道路は鉄鋼など素材産業が東海市、知多市の臨海部にあり、大府市、刈谷市の加工産業を經由して、豊田市等の内陸部組み立てに至るまでの産業の物流道路である。産業幹線道路は広域的に産業の効率を左右する重要な位置づけで整備されるべきである。ことに、大府市は名古屋都市圏、太平洋ベルト地帯を結ぶ高速道路の結節点であるため、産業物流のボトルネックになることは、中部圏全体の経済損失となる。

市民のアクセス道路は、JR大府駅及び共和駅に通じる横根・北崎地区及び吉森・長草地区への道路及びバス等の交通インフラが不十分である。

一方、街づくりの拠点となるJR大府駅及び共和駅前には、高齢化社会に向け商店街への回帰がニーズとしてあり、大府駅東南部において商店街の再生を図る必要がある。

・ JR大府駅東側周辺の再開発

JR大府駅東南部の一角は、賑わいが失われており、中心市街地活性化を図るための指針の策定を要望する。2010年度大府市による地権者の意向に配慮した勉強会を開催する。

- ① 中心市街地形成のための指針策定
- ② 飲食店、ビジネス拠点、アミューズメント施設、スポーツ施設等の誘致